

(3) 主要施設分布

本町における主要施設は、各地区の中心部および国道沿いに多く分布している。教育・児童福祉施設や医療・福祉施設は、各地区の中心部に配置されている。また、御殿場市内の商業施設なども利用されている。

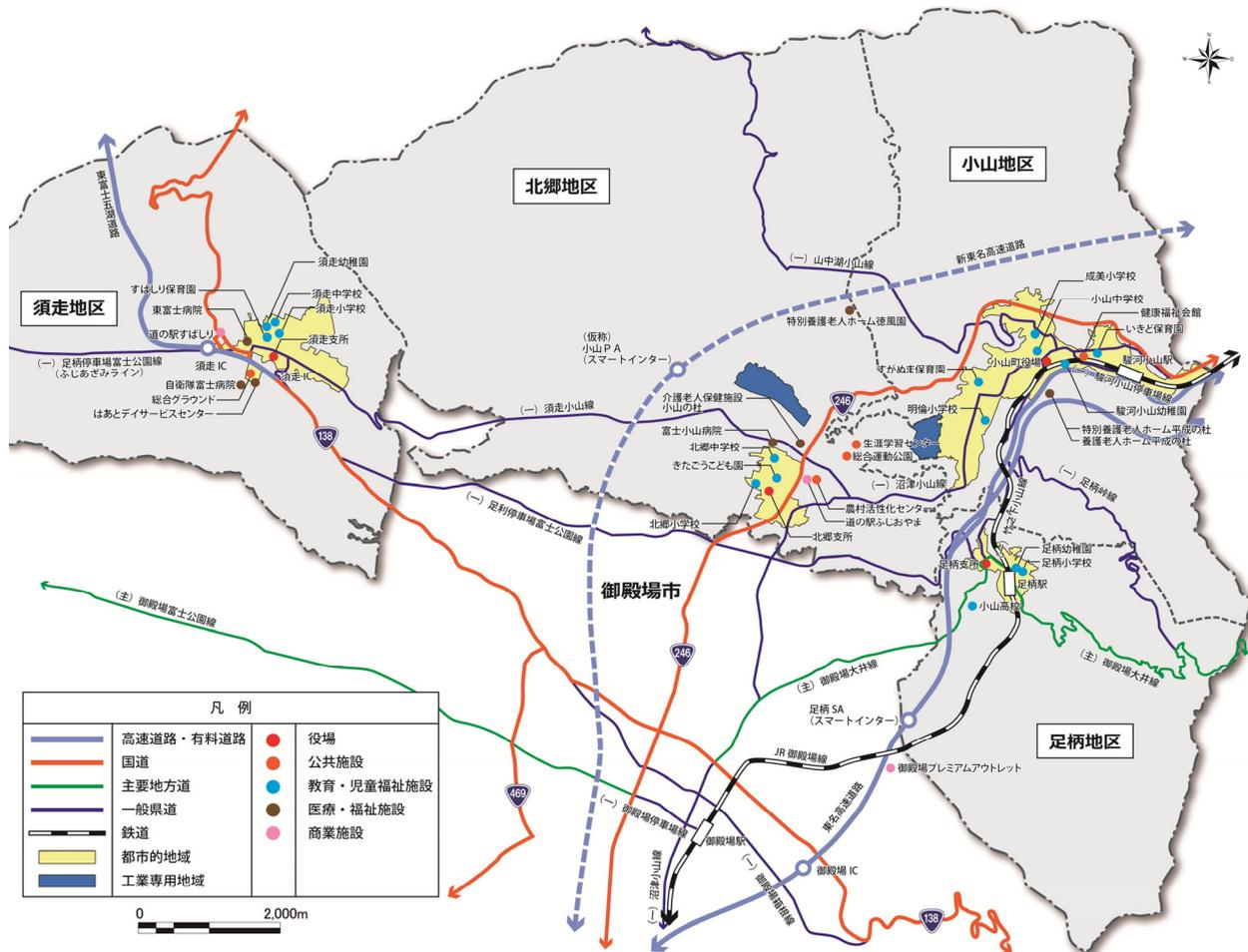


図 2-11 主要施設等の分布

(4) 主要観光資源

本町における主要観光資源は、平成 25 年 6 月に「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」として正式に世界文化遺産に登録された富士山を始め、「金太郎生誕の地」として金太郎にゆかりのある場所が多く、豊門会館や足柄城址といった文化財や史跡等の自然や歴史、文化のあふれた観光資源を多く有している。

特に、富士山の注目度はこれまで以上に高まっており、富士山周辺の地域では、国内外から観光客が増加している。本町においても須走口登山道と富士浅間神社の2つが構成資産として登録されている。富士登山やハイキングコース、静岡県と山梨県、神奈川県境にわたる富士箱根トレイル等、四季を楽しむ自然散策を楽しめるコースも整備されている。

また、富士スピードウェイなどの大型施設、地場製品の販売や富士山景観により人気のある道の駅（ふじおやま、すばしり）、温泉、ゴルフ場など、本町は観光資源に恵まれている。

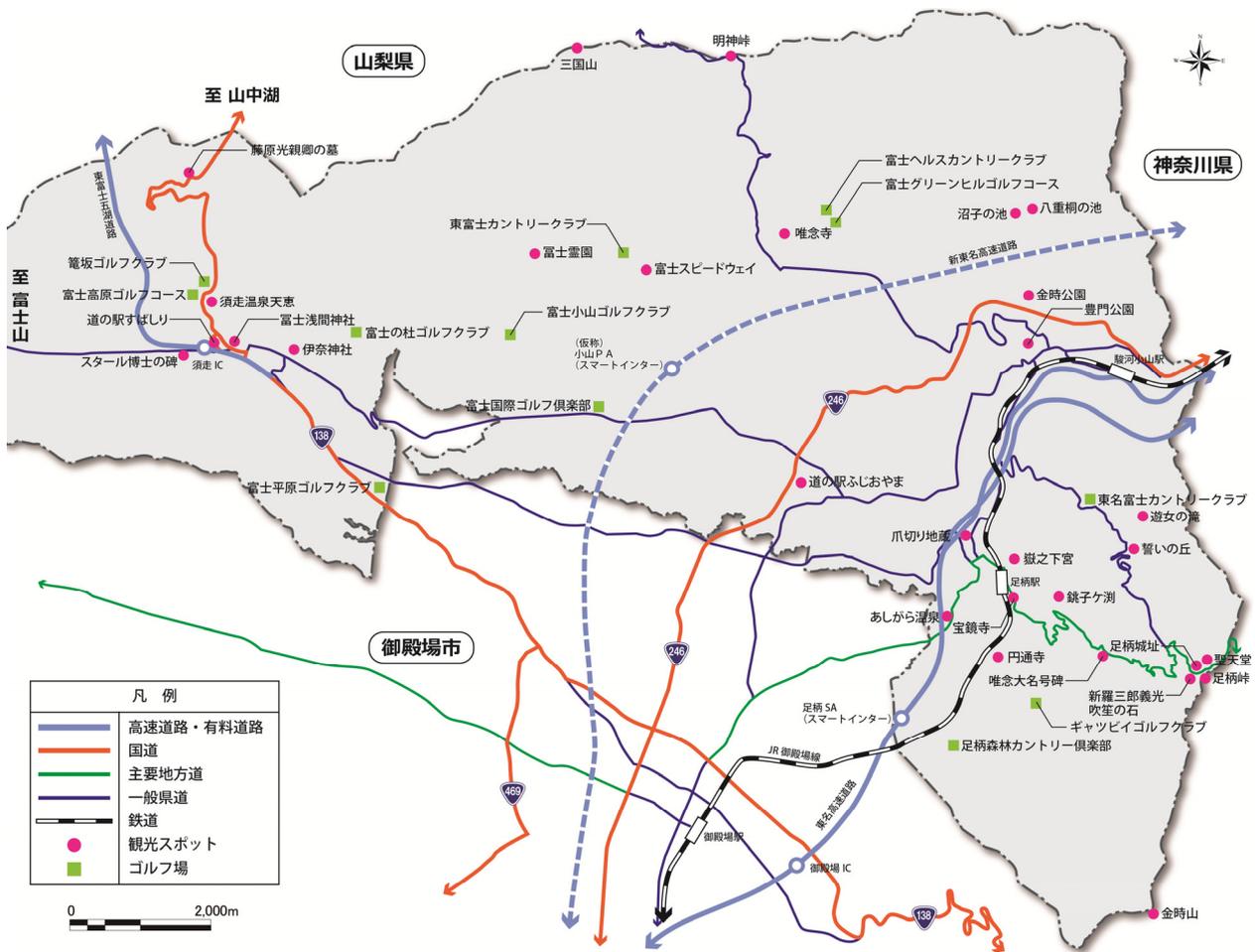


図 2-12 主要観光資源の分布

3. 地域公共交通の現況

3-1 公共交通の整備状況

(1) 公共交通の種類

本町における公共交通網は、JR 東海による JR 御殿場線が町東部を南北に縦断し、路線バスは富士急行によって、御殿場市と結ぶ路線を中心に形成されている。鉄道と路線バスの広域幹線路線である駿河小山線及び河口湖線が広域公共交通の骨格を担っている。この広域幹線を補完する形で路線バス網が形成されており、町内の移動はこれらの路線バスに連携する形でコミュニティバスや小山地区・足柄地区実証実験運行バスが運行されている。

表 3-1 小山町の公共交通

種類		運行主体	概要
鉄道	JR 御殿場線	JR 東海	JR 東海道線の国府津駅及び沼津・三島駅と接続。小山町内 2 駅（JR 駿河小山駅、JR 足柄駅）
バス	路線バス	富士急行	小山町内 9 路線
	コミュニティバス	小山町	町内巡回バスの廃止に伴って、平成 26 年 10 月から運行開始。富士急行に運行委託
	小山地区・足柄地区 実証実験運行バス	小山町	コミュニティバス運行に伴って、公共交通空白地となった小山・足柄地区の一部に無料調査運行（平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月）を経て、平成 27 年 10 月から運行開始。富士急行に運行委託
高速バス	JR 東名ハイウェイバス、 小田急箱根、京浜急行、富士急行	東名高速道路に 2 箇所（東名小山、東名足柄）のバス停があり、東京・名古屋方面へ運行されている。	

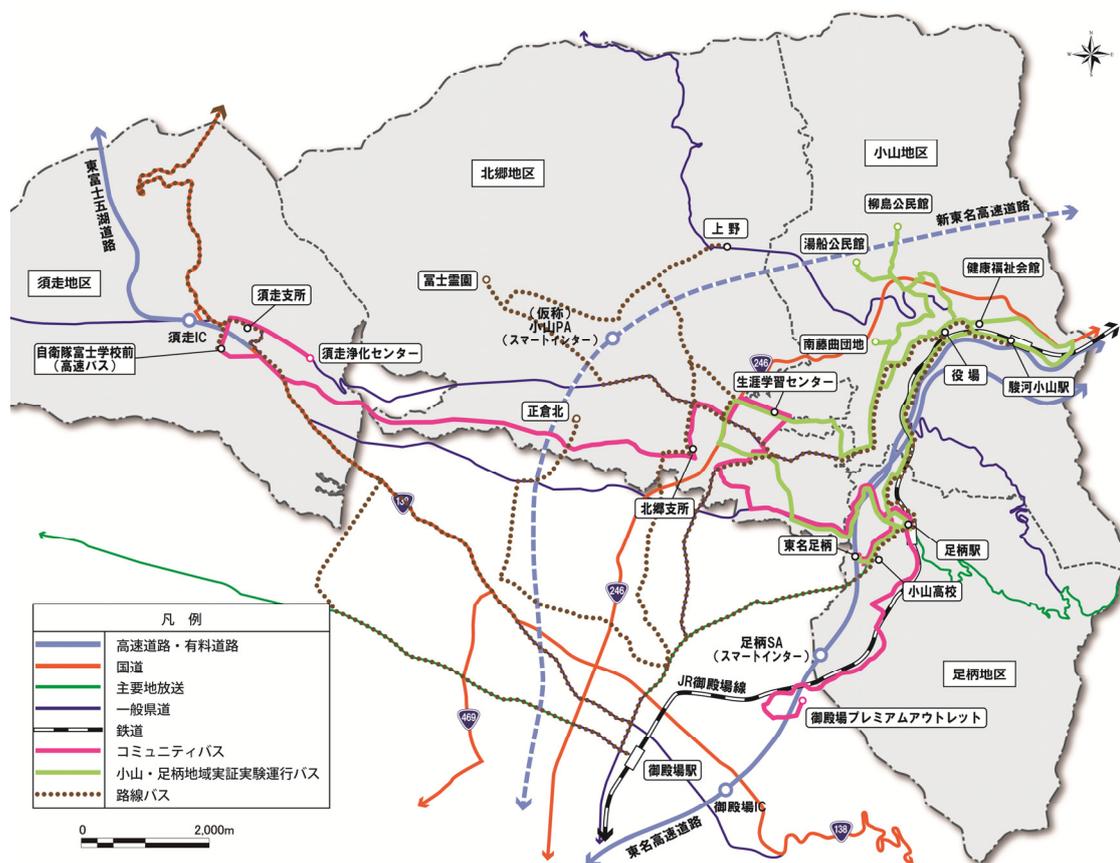


図 3-1 小山町の公共交通網

(2) 公共交通の運行状況・利用者数

① 鉄道

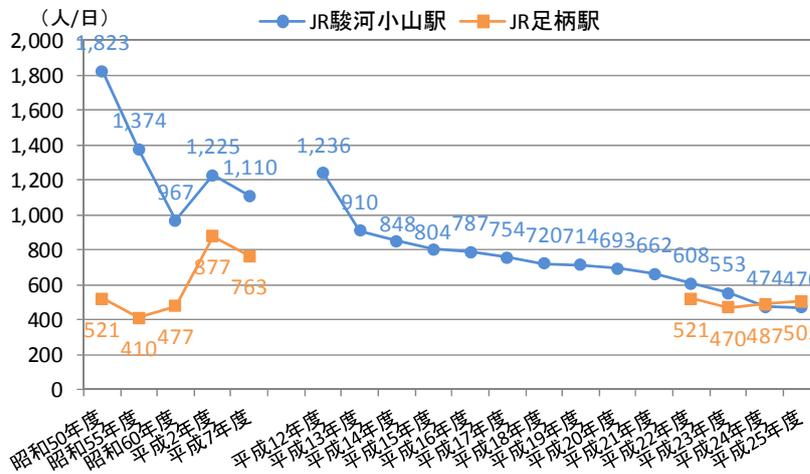
本町においては、JR 東海道線の国府津駅及び沼津・三島駅から本町内を結ぶ JR 御殿場線が通り、町内に、JR 駿河小山駅と JR 足柄駅が位置している。JR 御殿場線は東名高速道路と並行するように通っており、本町の重要な交通体系を構築している。JR 駿河小山駅及び JR 足柄駅は JR 御殿場駅管理の無人駅であり、両駅とも利用者数は約 500 人/日程度である。そのうち、定期利用者が大半を占め、JR 足柄駅では 9 割が定期利用者となっている。

JR 駿河小山駅には、小田急小田原線と直通運転する特急あさぎりの一部が停車する。

表 3-2 JR 駿河小山駅・JR 足柄駅（JR 御殿場線）の運行概要（東海旅客鉄道ホームページ）

駅	項目		国府津方面		御殿場・沼津方面		平成 25 年度 1 日平均乗車人員*
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
JR 駿河小山駅	運行本数	平日	24 本	27 本	27 本	27 本	470 人/日 (うち定期利用 321 人)
	始発時刻・終発時刻		5:48 22:36	6:17 23:28			
JR 足柄駅	運行本数	平日	23 本	25 本	25 本	25 本	505 人/日 (うち定期利用 438 人)
	始発時刻・終発時刻		5:43 22:31	6:17 23:34			
JR 御殿場駅 (参考)	運行本数	平日	26 本	35 本	35 本	35 本	4,876 人/日 (うち定期利用 2,914 人)
	始発時刻・終発時刻		5:37 22:24	5:27 22:38			

※静岡県統計年鑑（乗車のみ）



※静岡県統計年鑑（乗車のみ）※H12～H21 は職員配置駅のみデータ掲載

図 3-2 JR 駿河小山駅・JR 足柄駅（JR 御殿場線）の年度別利用実績の推移

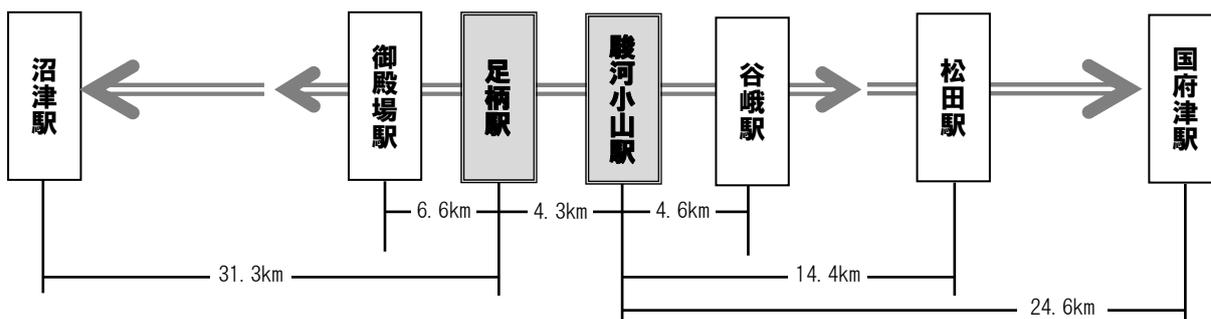


図 3-3 JR 駿河小山駅・JR 足柄駅の駅間距離

②路線バス

本町の路線バスは、富士急行株により9路線が運行され、河口湖線と駿河小山線が広域幹線系統の路線として運行本数も多く、本町のバス路線の基幹を担っている。路線バスは、主に御殿場市内と結ぶ路線となっており、御殿場市とのつながりが強い。

利用者は、特に外国人の利用者の増加によって河口湖線が大きく増加している。一方で、駿河小山線を始めとするその他の路線は減少している。

河口湖線の運賃は、町内移動の場合は150～580円で、御殿場駅や御殿場プレミアムアウトレットまでは440～910円となっている。また、駿河小山線の運賃は、町内を起終点とする移動の場合は150～370円で、御殿場駅までは320～600円となっている。

表 3-3 主要バス路線の運賃

河口湖線								駿河小山線								
御殿場プレミアムアウトレット								駿河小山駅								
210	御殿場駅							150	小山役場前							
440	440	滝ヶ原入口						190	150	菅沼						
500	500	150	須走入口					250	200	150	十輪寺					
540	540	170	150	須走車庫前				290	250	190	150	吉久保坂下				
560	560	210	150	150	須走浅間神社			340	290	240	190	150	佐野川			
620	620	280	220	190	150	富士高原ゴルフ場		370	330	280	220	170	150	一色		
690	690	350	300	270	240	150	駒止松	600	560	500	450	400	360	320	御殿場駅	
910	910	580	520	490	470	400	320	籾坂峠								

表 3-4 路線バスの系統別運行本数（平成26年度）

系統数	系統名	運行系統			運行日		1日あたり 運行回数 (往復)	平均乗 車密度 (人)
		起点	経過地	終点	運行曜日	運行 日数		
1	河口湖線	河口湖駅	旭日丘	御殿場駅	通年	361	29.5 (休日28.0)	6.7
2	小山高校線	駿河小山駅	所領、足柄駅	小山高校	平日のみ	236	0.5	4.6
3	小山高校線	御殿場駅	仲町	小山高校	平日のみ	236	2.0	3.4
4	駿河小山線	御殿場駅	一色	駿河小山駅	毎日運行	362	16.0 (休日10.5)	3.7
5	駿河小山線	御殿場駅	仲町	佐野川	平日のみ	236	0.5	4.0
6	駿河小山線	御殿場駅	仲町	一色	通年(年末・年始運休)	360	0.5	1.5
7	正倉線	御殿場駅	中下橋	正倉北	平日のみ	236	0.5	0.6
8	中日向線	御殿場駅	高根支所	上野	通年(年末・年始運休)	354	4.5 (休日1.5)	1.9
9	中日向線	御殿場駅	高根支所	富士小山病院	平日のみ	236	0.5	1.4
10	富士霊園線	御殿場駅	わさび平	富士霊園	土休日運行(1月～ 2月は土曜日運休)	122	5.5	2.9
11	富士霊園線	御殿場駅	富士スピードウェイ	富士霊園	土休日運行(1月～ 2月は土曜日運休)	122	3.0	4.2
12	富士霊園線	駿河小山駅	富士スピードウェイ	富士霊園	土休日運行(1月～ 2月は土曜日運休)	122	10.5	7.0

※平成26年10月1日～平成27年9月30日

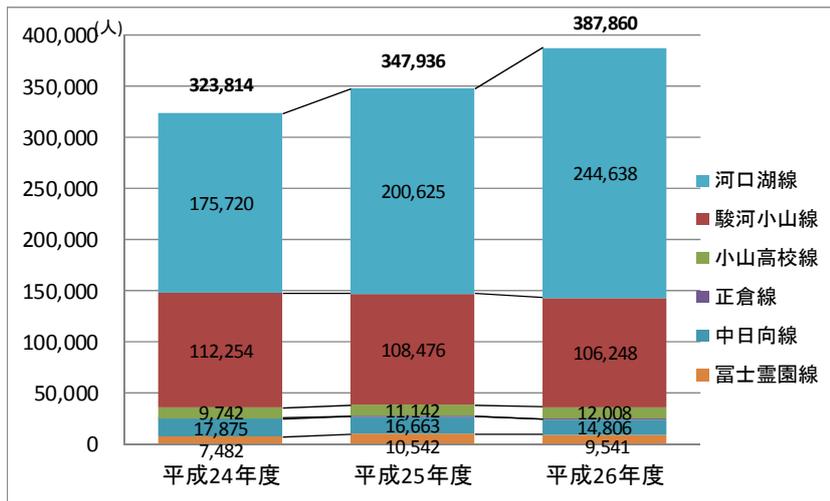


図 3-4 路線バスの年度別利用実績の推移

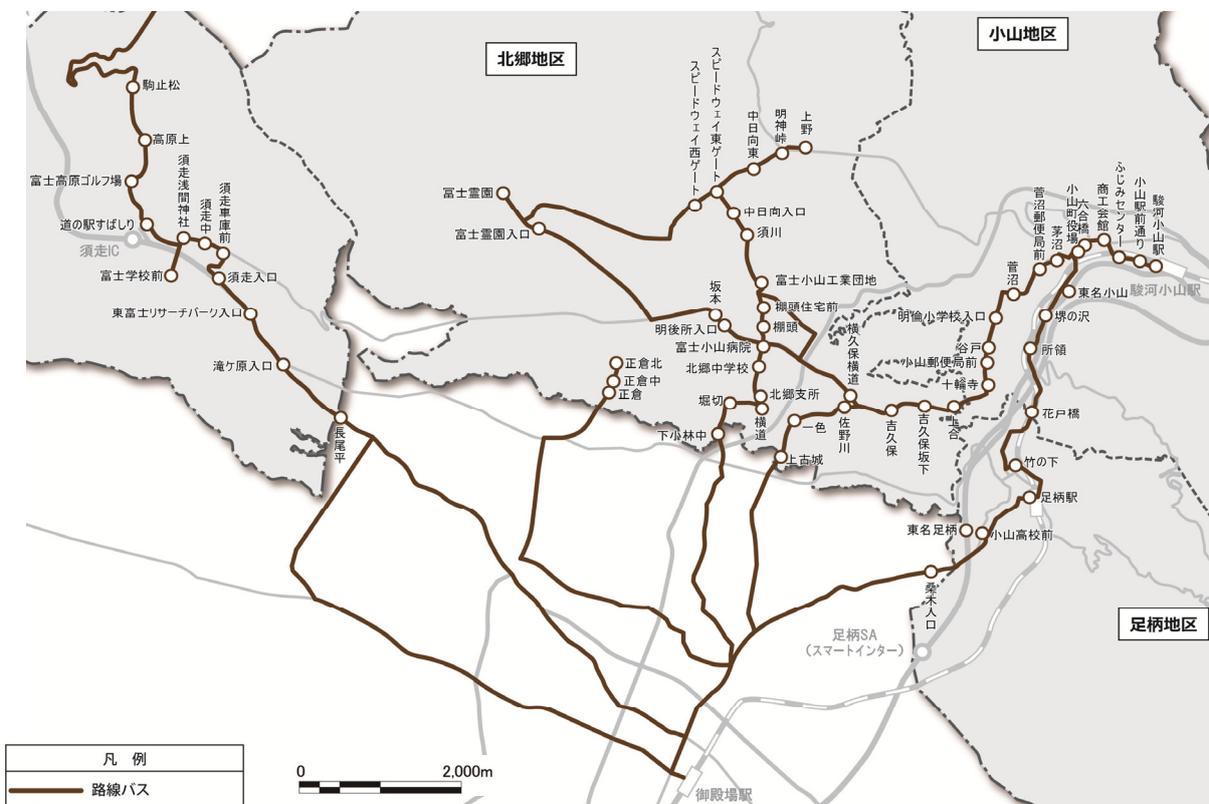


図 3-5 路線バス網

③コミュニティバス

本町におけるコミュニティバスとして無料で誰でも利用でき、町内の主要な施設を巡回する町内巡回バスが、平成12年4月から平成26年9月まで運行していたが、平成26年10月より新たなコミュニティバスとして運行を開始している。コミュニティバスは、生涯学習センターを拠点として、須走地区を走る「すばしりルート」と足柄地区を繋ぐ「あしがらルート」、足柄駅から御殿場プレミアムアウトレットを結ぶ「くわぎルート」が運行されている。

利用者数は、無料運行の町内巡回バスでは年間約4万人の利用があったが、有料の新たなコミュニティバスでは、18,723人/年(平成26年10月～平成27年9月)となっている。特に、「くわぎルート」は、利用者も少ない。

ただし、町内巡回バスにはスクールバス利用者(平成26年度:年間約1.8万人:P.31参照)も含まれていた。また、コミュニティバスと関連して無料調査運行(平成26年10月～平成27年9月:年間3,535人)、実証実験運行(平成27年10月～:年間約6,800人、3か月で1,708人:P.19参照)等も実施している。これらを考慮すると有料化以降の平成26年10月～平成27年9月の利用者は40,001人となり、平成25年度の37,913人よりも増加している。

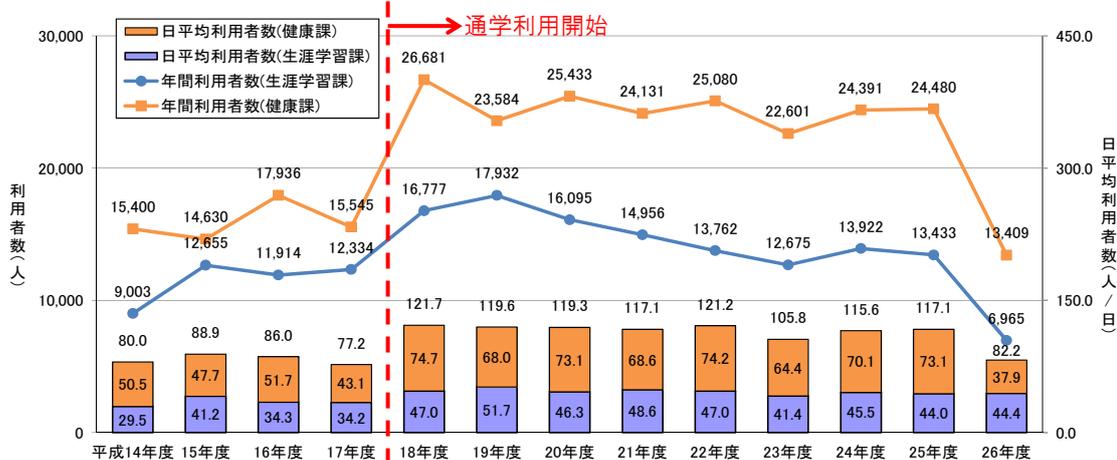


図 3-6 町内巡回バスの年度別利用実績の推移(平成26年度9月まで)

表 3-5 コミュニティバスの系統別運行本数(平成26年度)

系統数	系統名	運行系統		運行日		1日あたり 運行回数(往復)	平均乗車 密度(人/便)
		起点	終点	運行曜日	運行日数		
1	すばしりルート	生涯学習センター	須走浄化センター	毎日	365	5.0	1.68
2	あしがらルート	生涯学習センター	東名足柄	毎日	365	5.0	1.64
3	くわぎルート	東名足柄	御殿場プレミアム・アウトレット	毎日	365	4.0	0.12

※平成26年10月1日～平成27年9月30日

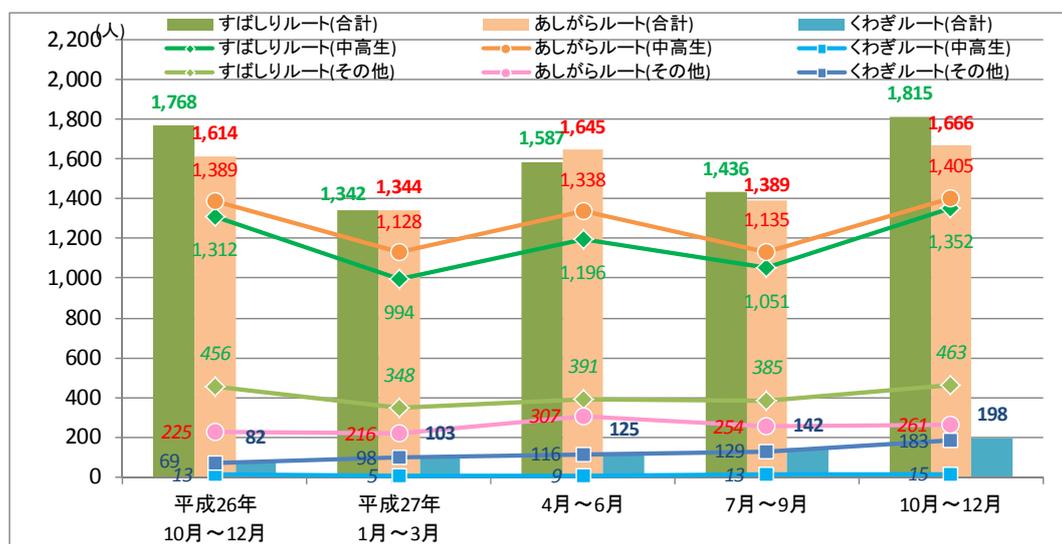


図 3-7 コミュニティバスの利用実績の推移(3ヶ月毎)

表 3-6 コミュニティバスの系統別運行本数(平成26年度)

平成25年度※1		平成26年度※2	
町内巡回バス(健康課)	24,480	コミュニティバス	12,577
町内巡回バス(生涯学習課)	13,433	調査運行	3,535
		スクールバス	17,889
合計	37,913	合計	34,001

※1:平成25年4月～平成26年3月、※2:平成26年10月～平成27年9月

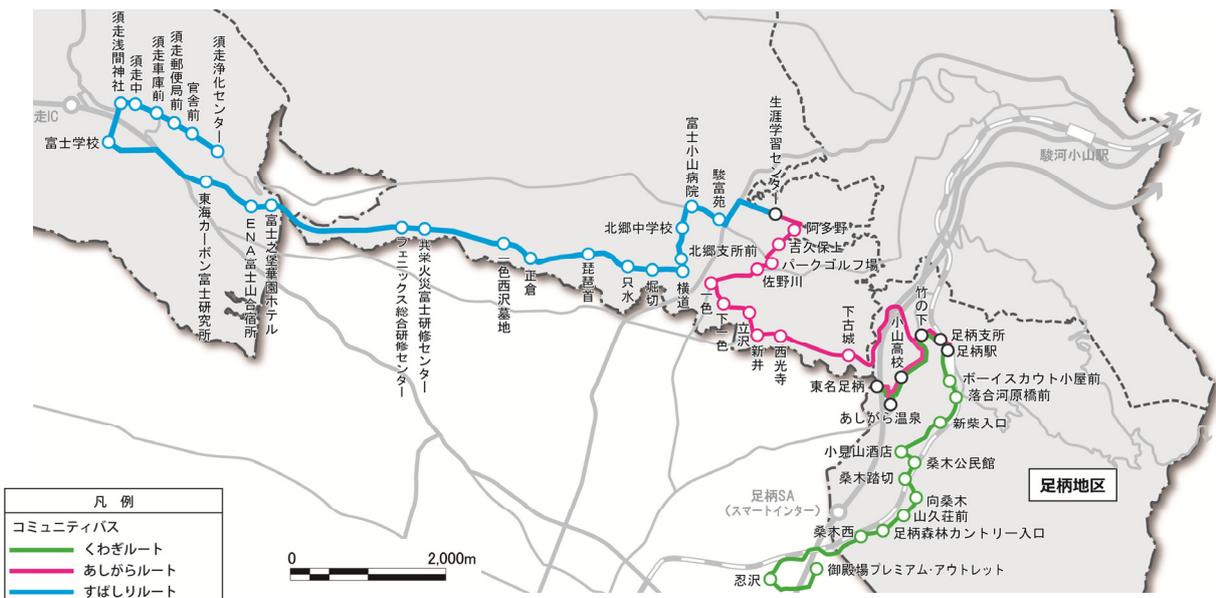


図 3-8 コミュニティバス路線

④ 小山地区・足柄地区実証実験運行バス

町内巡回バスの廃止を受けて新たなコミュニティバスを運行する際に、小山地区の一部で公共交通空白地となってしまうことから、平成26年10月からの1年間を無料調査運行として公共交通サービスの必要性を調査し、約300人/月の利用があった。この調査運行の結果、毎日の運行は不要であるものの、公共交通の運行が必要であったことから、平成27年10月より実証実験バス(有料)としてコミュニティバスや路線バスへ接続する地域内バスの運行を開始した。

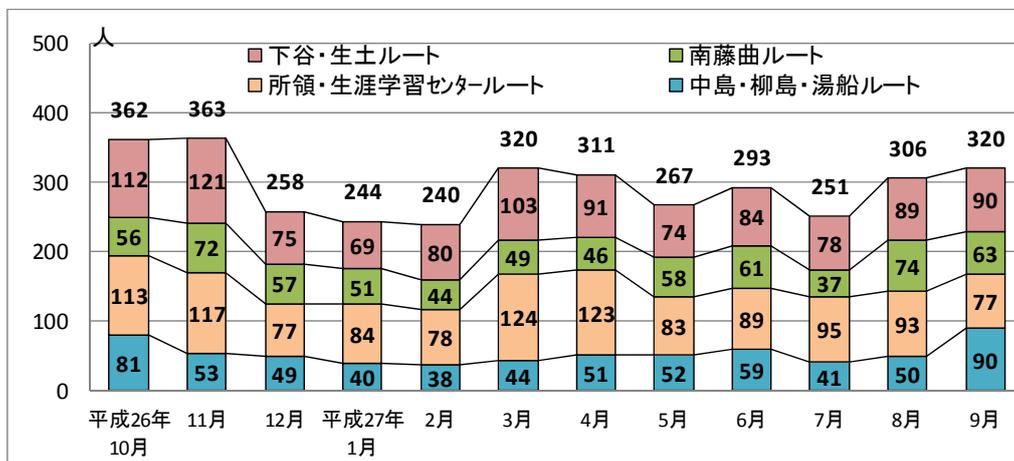


図 3-9 無料調査運行バスの利用実績の推移 (平成26年度)

表 3-7 小山地区・足柄地区実証実験運行バスの系統別運行本数

系統数	系統名	運行系統		運行日	1日あたり運行回数(往復)	平均乗車密度(人/便)
		起点	終点			
1	循環コース	足柄駅～生涯学習センター～小山役場		通年(年末・年始運休)	9.0※	1.52
2	湯船・柳島コース	ふじみセンター	なかがわ医院入口	日・火・木運行	6.0	0.44

※スクール対応として、朝夕に明倫小・小山中学校への運行あり

※平成27年10月1日～平成27年12月29日

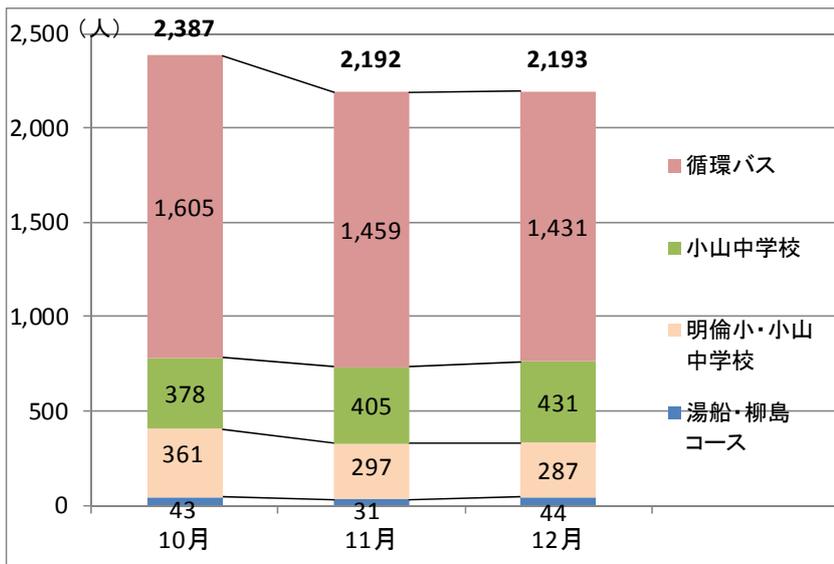


図 3-10 小山地区・足柄地区実証実験運行バスの利用実績の推移（平成 27 年度）

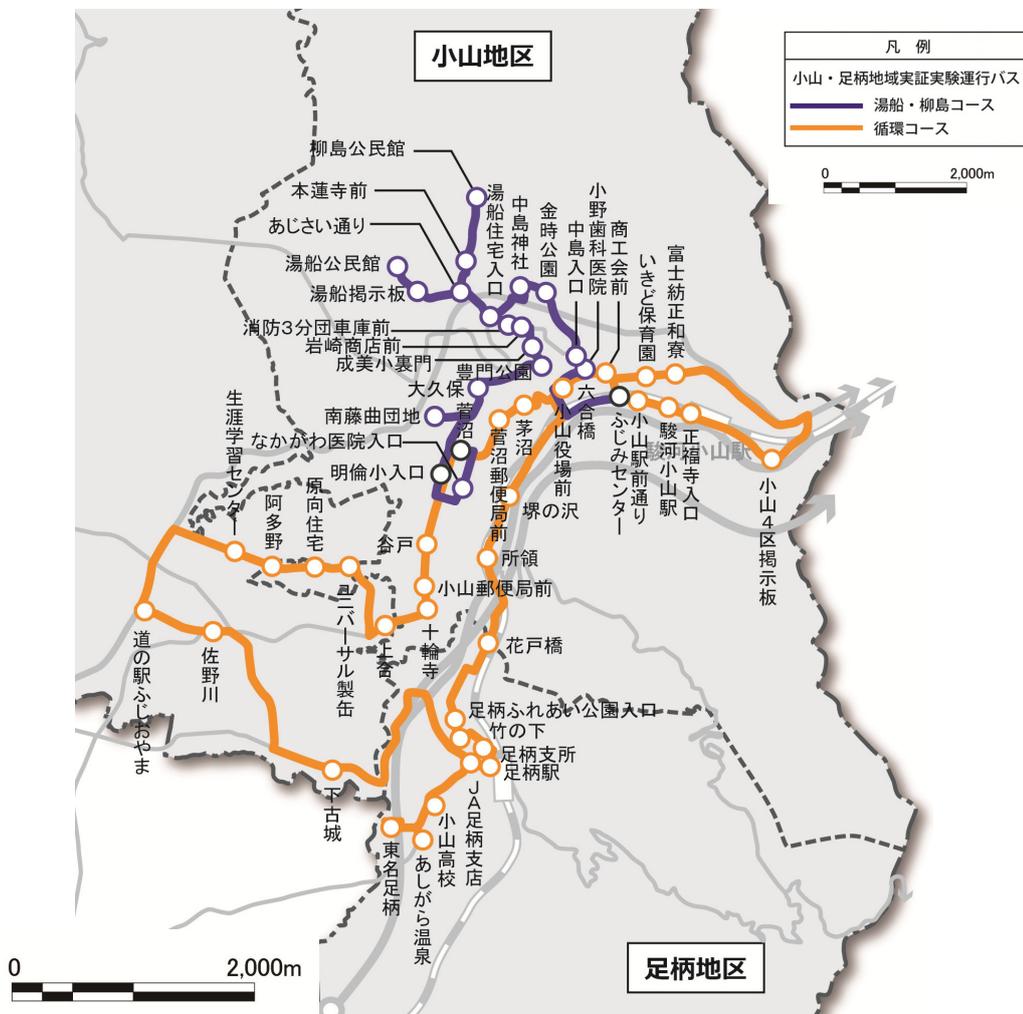


図 3-11 小山地区・足柄地区実証実験運行バス路線

(3) バス利用実態

調査概要

【調査日時】 平成 27 年 11 月 12 日 (木) 天候：曇

平成 27 年 11 月 13 日 (金) 天候：曇

【調査対象】

対象路線	対象区間	対象バス
コミュニティバス	全区間	スクールバスは 11 月 13 日(金)のみ
小山地区・足柄地区 実証実験運行バス	全区間	湯船・柳島コースは 11 月 12 日(木)のみ (金曜日は運休) スクールバスは 11 月 13 日(金)のみ
駿河小山線	一色～駿河小山駅	7:08 御殿場駅発～19:10 御殿場駅発の 14 便 7:25 駿河小山駅発～19:00 駿河小山駅発の 14 便 計 28 便
上野線	堀切～上野	全便

2 日間の調査結果の平均値をコミュニティバス・実験バス・路線バス（駿河小山線・上野線）の 4 分類で集計し、その特性を整理した。なお、個別の平均値を四捨五入して合計しているため、各集計の実数合計は一致しない。

河口湖線については、県を跨る広域幹線であるため調査対象としなかった。

調査結果

【利用者数】

本町内におけるバスの実利用者（小山町内で乗車又は下車する実利用者数）は 2 日間の平均で 321 人であった。また、前回調査時運行の巡回バスに相当するコミュニティバス・実験バスの合計は 2 日間の平均で 143 人であり、前回の 125 人を上回っている。

現在のコミュニティバス、実験バスは町内の通学に利用しやすくなっており、実利用者の約 80%が通学利用となっている。

○延べ利用者(乗り継ぎ利用客をそれぞれの便で 1 利用者として集計)

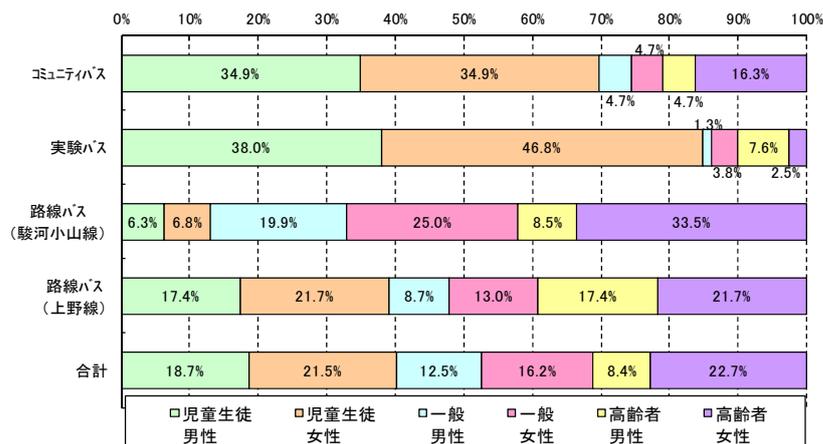
調査日	対象	コミュニティバス	実験バス	コミュ+実験 (前回巡回バス)	スクールバス	路線バス (駿河小山線)	路線バス (上野線)	合計
11/12 (木曜日)	合計	58	70	128	-	175	22	325
	うち通学	47	53	100	-	6	4	210
11/13 (金曜日)	合計	77	89	166	47	194	24	384
	うち学生	58	82	140	47	6	4	290
平均	合計	68	80	147	47	185	23	355
	うち通学	53	68	120	47	6	4	250
前回平均	合計	-	-	181	-	-	-	-

○実利用者(乗り継ぎ利用者を含む 1 トリップを 1 利用者として集計)

調査日	対象	コミュニティバス	実験バス	コミュ+実験 (前回巡回バス)	スクールバス	路線バス (駿河小山線)	路線バス (上野線)	合計
11/12 (木曜日)	合計	34	68	102	-	169	22	293
	うち通学	25	51	76	-	0	4	156
11/13 (金曜日)	合計	50	87	137	47	188	24	349
	うち学生	32	80	112	47	0	4	228
平均	合計	42	78	120	47	179	23	321
	うち通学	29	66	94	47	0	4	192
前回平均	合計	-	-	125	-	-	-	-

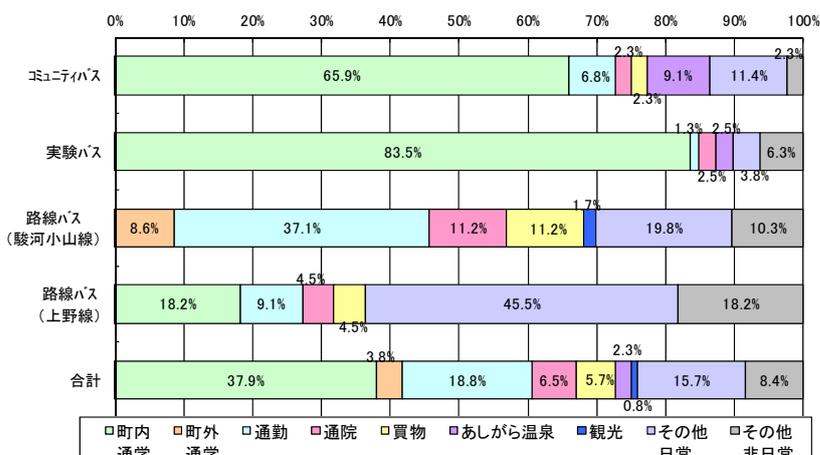
【利用者属性】

コミュニティバスは7割、実験バスは8割以上が児童生徒の利用であった。路線バスは駿河小山線・上野線いずれも4割程度が高齢者の利用であり、駿河小山線については一般の利用も高齢者を上回る割合であった。



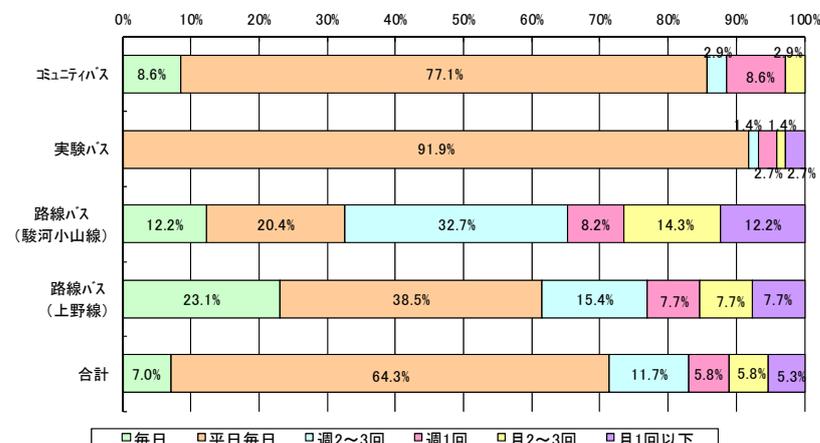
【利用目的】

コミュニティバスは7割弱、実験バスは8割以上が町内通学であった。路線バスは駿河小山線では通勤、上野線ではその他日常が多い。



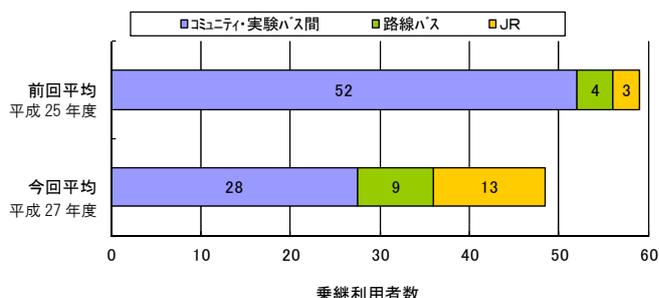
【利用頻度】

コミュニティバスは8割、実験バスは9割以上が毎日又は平日毎日利用されており、路線バスは上野線、駿河小山線の順に利用頻度が低い利用者に利用されている。



【乗継利用者数】

コミュニティバス・実験バス利用者の乗継利用者数は、コミュニティバス・実験バス間の今回平均で28人であり、前回の巡回バス間の乗継利用者の約半数に減少した。これに対し、路線バス、JRとの乗継利用者数が増加している。



【便別利用者数】

2日間の平均値が多い(表中の黄色:平均10人/便以上)便は、通学利用が多い、朝・夕方の便となっている。これは利用者が同じであるため、平日は同じ傾向にある。夕方は利用する便が分散されるため朝よりは少なくなっている。

路線バスの駿河小山線は昼間に利用が多く、日常の利用にも使われている。御殿場方面への利用者は午前中に多く、駿河小山方面は午後になるので、本町から御殿場市内へ出かけていることが伺われる。

種別	ルート	コード	発車時刻	木曜日	金曜日	平均	特記事項	
コミュニティバス	すばしり ルート (生涯学 習センター 行き)	SA1	7:25	15	16	16	木:14人、金15人小山高校通学	
		SA2	8:30	2	2	2		
		SA3	9:45	1	1	1		
		SA4	12:30	0	0	0		
		SA5	16:00	0	0	0		
	すばしり ルート (生涯学 習センター 行き)	SB1	9:00	1	0	1		
		SB2	12:00	2	2	2		
		SB3	14:30	0	1	1		
		SB4	16:30	3	4	4	4人小山高校通学(AB4乗継)	
		SB5	19:25	5	7	6	木:5人、金:7人小山高校通学(AB5乗継)	
	計				29	33	31	
	あしがら ルート (東名足 柄行き)	AA1	7:52	15	17	16	木:14人、金15人小山高校通学(SA1乗継)	
		AA2	9:00	2	1	2		
		AA3	12:00	0	0	0		
		AA4	14:30	0	0	0		
		AA5	16:30	0	1	1		
	あしがら ルート (生涯学 習センター 行き)	AB1	8:30	0	0	0		
		AB2	9:59	0	0	0		
		AB3	13:04	0	1	1		
		AB4	16:05	5	7	6	4人小山高校通学	
AB5		19:04	6	9	8	木:5人、金:7人小山高校通学		
計				28	36	32		
くわぎ ルート (アウトレ ット 行き)	KA1	9:22	1	1	1			
	KA2	12:22	0	3	2			
	KA3	14:52	0	0	0			
	KA4	16:52	0	2	1			
くわぎ ルート (東名足 柄行き)	KB1	9:40	0	2	1			
	KB2	12:45	0	0	0			
	KB3	15:30	0	0	0			
	KB4	18:45	0	0	0			
計				1	8	5		
計				58	77	68		
実験バス	循環 コースA	RA1	7:18	35	30	33	全て通学	
		RA2	10:40	0	0	0		
		RA3	15:45	0	10	5	全て小山中学通学(木曜日は利用なし)	
		計		35	40	38		
	循環 コースB	RB1	7:55	11	20	16	木:7人、金:17人小山高校通学	
		RB2	11:35	4	3	4		
		RB3	16:40	4	23	14	木:3人、金:全て通学	
	計				19	46	33	
	循環 コースC	RC1	9:40	6	1	4		
		RC2	18:00	0	0	0		
	計				6	1	4	
	循環 コースD	RD1	14:10	7	2	5		
		計		7	2	5		
	計				67	89	78	
	柳島湯 船 コース	YA1	8:15	0	-	0	金曜日運休	
		YA2	10:50	1	-	1	金曜日運休	
		YA3	14:15	0	-	0	金曜日運休	
湯船柳 島 コース	YB1	9:40	2	-	2	金曜日運休		
	YB2	12:10	0	-	0	金曜日運休		
	YB3	16:00	0	-	0	金曜日運休		
計				3	-	3		
合計				70	89	80		

種別	ルート	コード	発車時刻	木曜日	金曜日	平均	特記事項	
路線バス	駿河小山線 (小山駅行き)	QA1	7:08	2	2	2		
		QA2	7:45	1	2	2		
		QA3	8:30	8	5	7		
		QA4	9:10	0	1	1		
		QA5	10:00	4	6	5		
		QA6	10:55	3	5	4		
		QA7	12:30	17	10	14		
		QA8	13:15	3	5	4		
		QA9	14:45	9	10	10		
		QA10	15:50	10	19	15		
		QA11	16:30	9	10	10		
		QA12	17:20	7	7	7		
		QA13	18:25	4	6	5		
		QA14	19:10	0	2	1		
	駿河小山線 (御殿場駅行き)	QB1	7:25	17	13	15		
		QB2	7:45	13	15	14		
		QB3	8:20	5	9	7		
		QB4	9:20	9	16	13		
		QB5	9:53	6	6	6		
		QB6	10:45	7	8	8		
		QB7	11:35	8	5	7		
		QB8	13:05	5	3	4		
		QB9	14:00	5	8	7		
		QB10	15:30	11	8	10		
		QB11	16:30	3	7	5		
		QB12	17:05	3	3	3		
		QB13	18:00	4	4	4		
		QB14	19:00	2	2	2		
	計				175	197	186	
	上野線 (上野行き)	UA1	8:05	1	1	1		
		UA2	10:35	2	3	3		
		UA3	15:00	5	5	5		
		UA4	16:15	1	2	2		
		UA5	17:30	2	0	1		
UA6		18:45	1	0	1			
上野線 (御殿場駅行き)	UB1	7:15	6	5	6			
	UB2	8:40	3	2	3			
	UB3	11:15	1	4	3			
	UB4	15:35	0	0	0			
	UB5	18:05	0	2	1			
計				22	24	23		
合計				197	221	209		

種別	ルート	コード	発車時刻	木曜日	金曜日	平均	特記事項
通学バス	明倫小・小山中	M1	7:13	-	14	14	金曜日のみ調査
	小山中	M2	15:45	-	8	8	金曜日のみ調査
	小山中	O	6:45	-	25	25	金曜日のみ調査
合計				-	47	47	

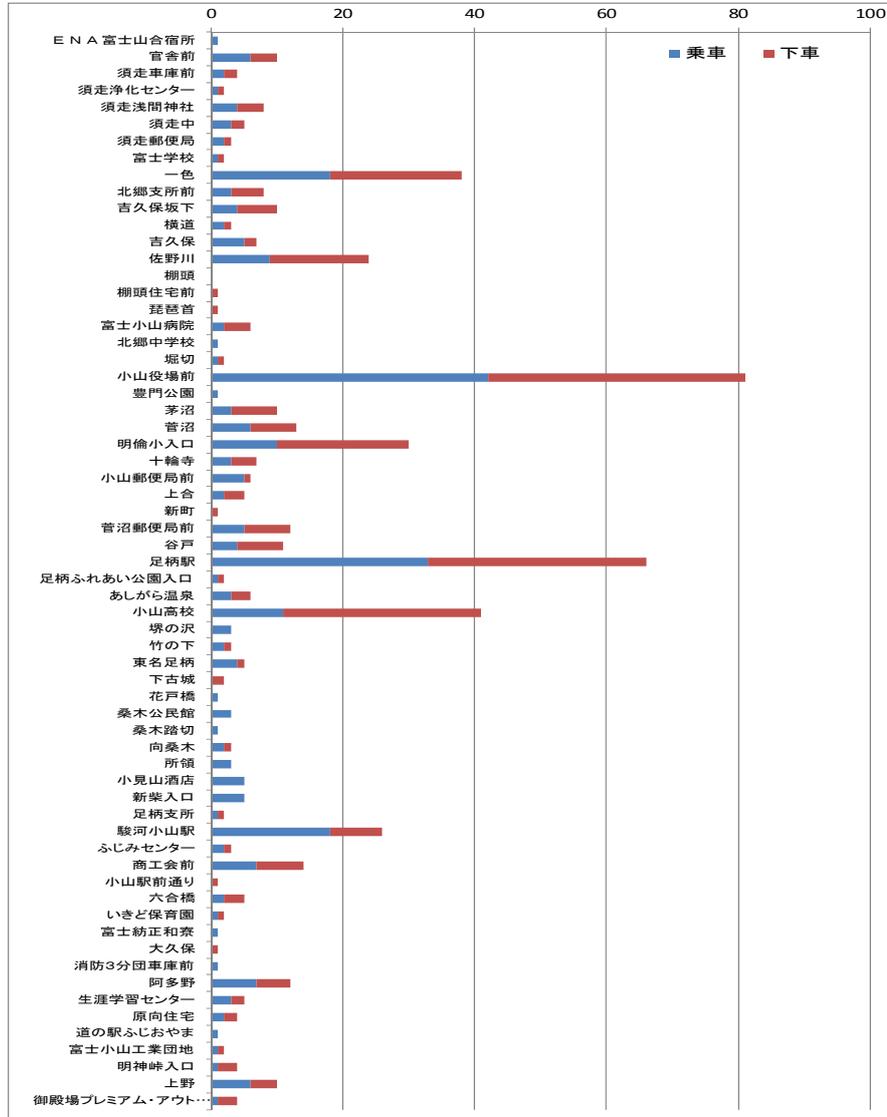
【乗継停留所】

乗継の利用があった停留所は生涯学習センターが最も多く、次ぐ足柄駅、小山役場前以外は4停留所で利用があった。

停留所	木曜日	金曜日	平均
生涯学習センター	24	27	26
足柄駅	9	19	14
小山役場前	8	6	7
須走浄化センター	1	0	1
須走浅間神社	1	0	1
一色	0	1	1
駿河小山駅	1	0	1
合計	44	53	49

【停留所別利用者数】

2日間の平均の利用者が多いバス停は、小山役場前、足柄駅、一色、小山高校の順であり、2日間平均で30人以上の利用があった。下古城以外のバス停で1回は利用があった。



【地域別起終点】

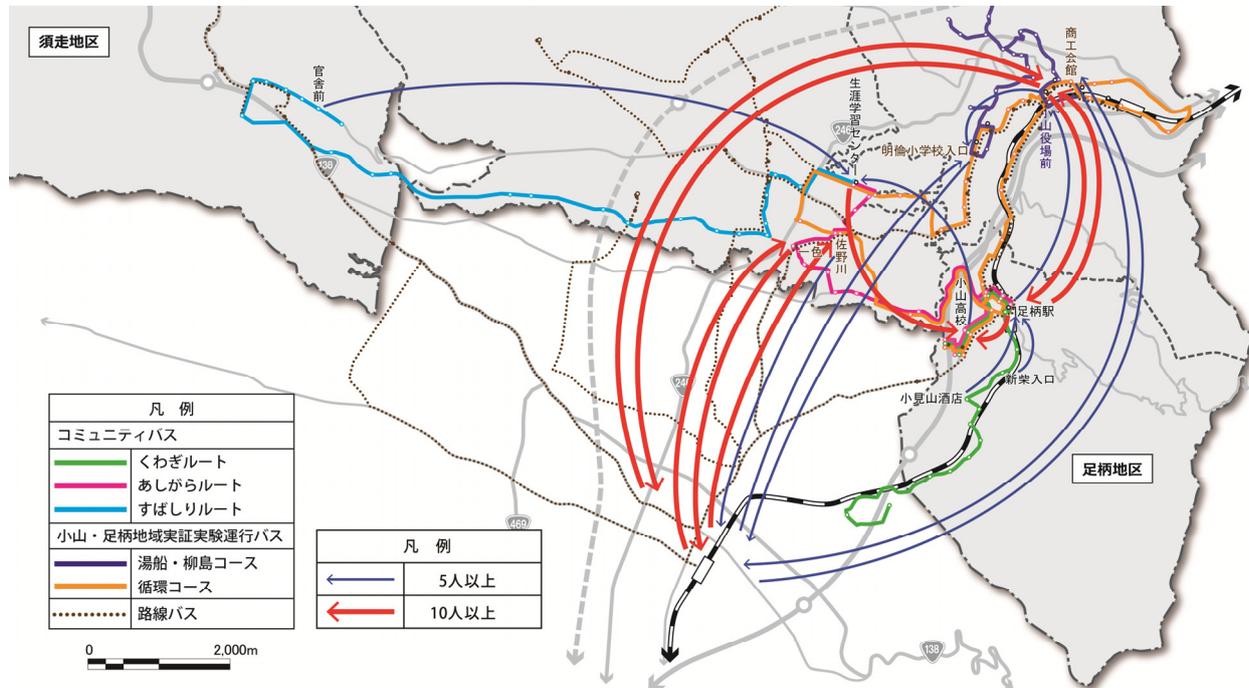
停留所を地域で分類し、乗車停留所と下車停留所の組合せを整理すると、2日間の平均で、足柄小学校・小山中学校・小山高校を含む足柄地域と須走・役場地域や、路線バスを利用した、北郷・役場・菅沼地域と御殿場市内間の利用が多い。足柄地域内での利用も多い。

乗車	下車	須走	北郷	役場	菅沼	足柄	小山駅	生土	湯船	生涯学習センター	上野	御殿場市内	計
須走		2	1	0	0	15	0	0	0	1	0	0	19
北郷		0	1	1	4	2	3	0	0	0	1	32	44
役場		0	2	1	5	20	1	0	1	2	0	15	47
菅沼		0	3	4	0	0	3	0	0	4	0	21	35
足柄		10	3	23	7	30	0	1	0	2	0	3	79
駿河小山駅		0	3	2	10	0	4	0	0	0	0	10	29
生土		0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3
湯船		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生涯学習センター		2	1	2	6	2	1	0	0	0	0	0	14
上野		0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
御殿場市内		0	37	13	18	1	9	0	0	1	3	未計測	82
計		14	56	48	50	71	21	1	1	11	4	82	359

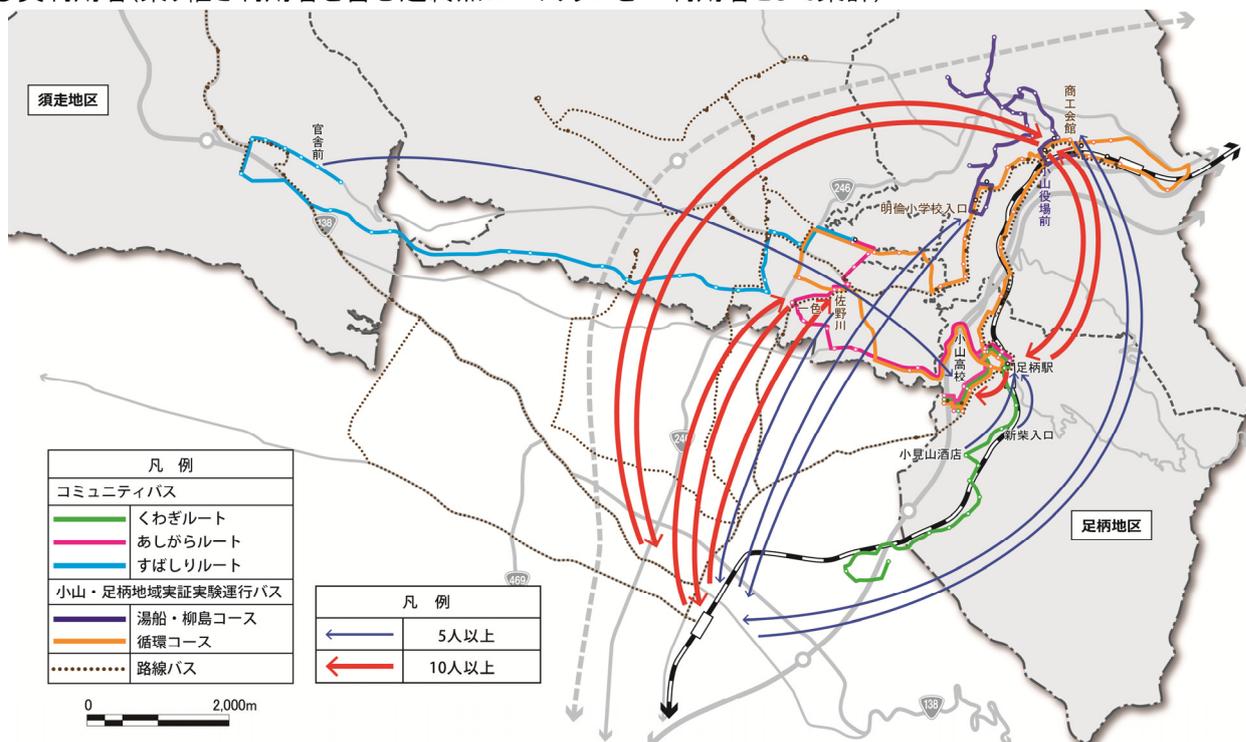
【利用者 OD】

停留所別の OD では、全体としては、御殿場市内と小山町内の小山役場前、佐野川、一色との往復が多くなっている。小山町内では、小山役場前と足柄駅の往復である。各路線毎と比較すると、須走から小山高校までの利用が生涯学習センターでの乗り換えとなっている。

○延べ利用者(乗り継ぎ利用客をそれぞれの便で1利用者として集計)



○実利用者(乗り継ぎ利用者を含む起終点の1トリップを1利用者として集計)



(4) バス路線網・バス停勢圏

平成 26 年 10 月から有料のコミュニティバス運行へと切り替わり、また平成 27 年 10 月からは小山地区・足柄地区実証実験運行バスも運行を開始している。コミュニティバスを運行する以前（平成 26 年 5 月時点）に比べ、路線やバス停の見直しを行ったことにより、現在ではバス停勢圏（バス停からの徒歩圏（300m））は、人口が集中しているエリアは概ねカバーされ、バス停が密に配置されていることがわかる。

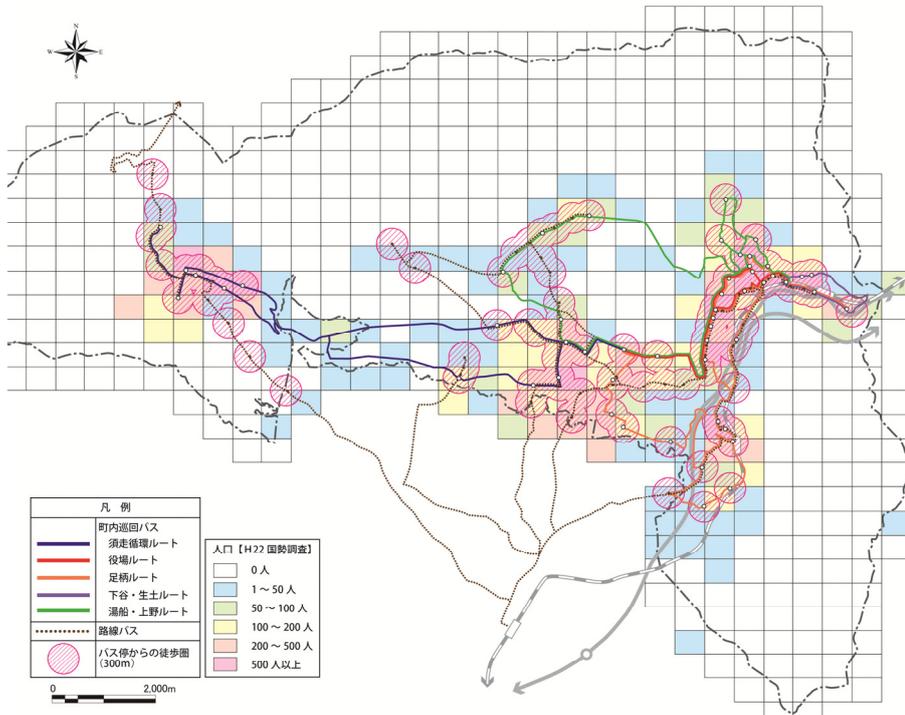


図 3-12 バス停勢圏と 500m メッシュ人口分布（平成 26 年 5 月時点）

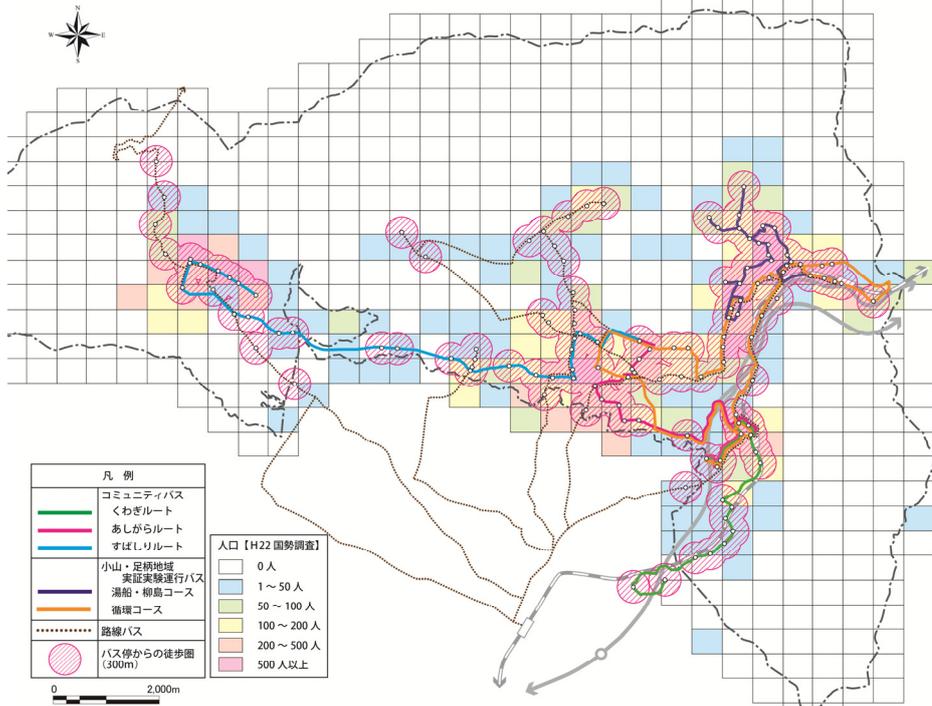


図 3-13 バス停勢圏と 500m メッシュ人口分布（現在）

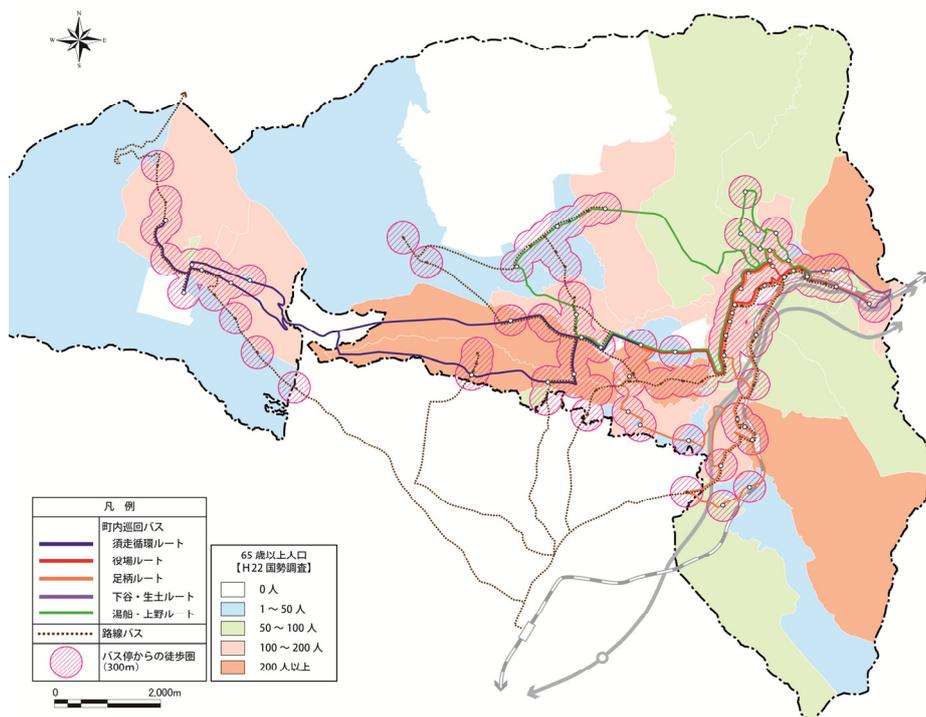


図 3-14 バス停勢圏と高齢者地区別人口（平成 26 年 5 月時点）

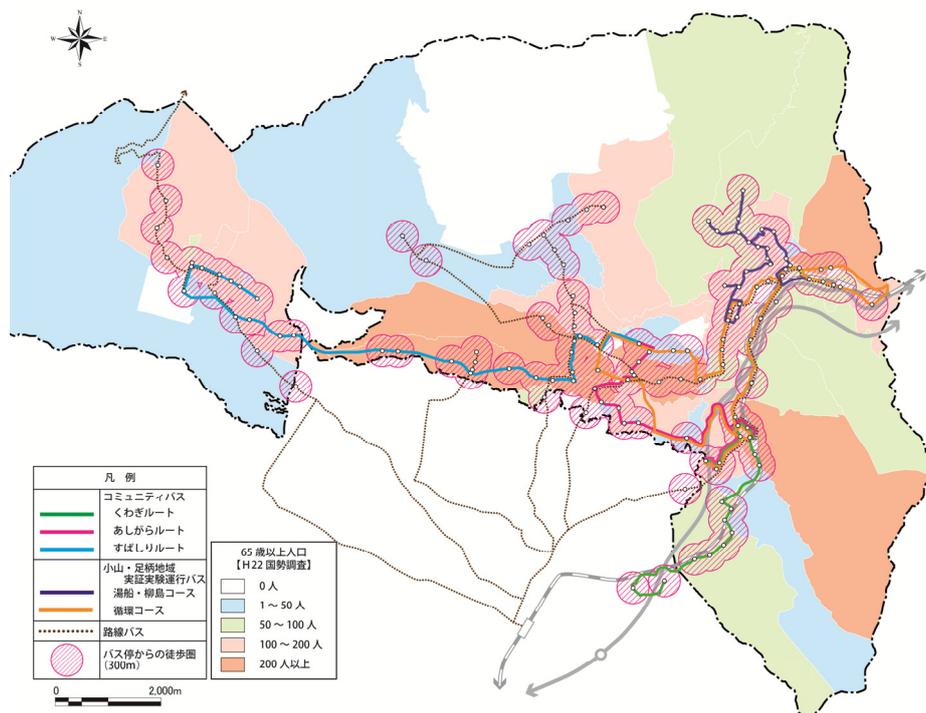


図 3-15 バス停勢圏と高齢者地区別人口（現在）

※バス停勢圏

公共交通の利用しづらい地域がどの程度（面積、人口など）あるかを表すために使用しており、地図上にてバス停を中心とした半径 200～500m の円で表すことが多く、鉄道駅（駅勢圏）になると半径 500m～1km とすることが一般的である。バス停にアクセスする手段は徒歩が圧倒的に多いことから、歩行者の視点から設定することが多く、パーソントリップ調査データより、平均的なバス停アクセス距離は 300m と考えられている。

参考文献：成功するコミュニティバス（中部地域公共交通研究会編著）

3-2 バス運行関連経費

路線バスへは、町が赤字の半額を補助している。バスに関連する経費等の合計は、年々増加しており、特に町内巡回バスは無料で運行していたため運行に係る経費の全額が町負担となっていた。このため、バスに関する経費等は町内巡回バスの割合が高くなっており、その経費も年々増加していた。このため、町内巡回バスを見直し、平成26年10月に有料のコミュニティバスとして運行している。

平成26年10月からのコミュニティバス等の新たな運行に係り、運行や車両を管理していた職員の人件費が減少したものの、バス停の設置、予備車両の確保等の運行の充実や車両の減価償却の新たに発生により、費用が増加している。一方で、運行を委託とし、乗り合いバス事業としたことにより、安全輸送の徹底が期待でき、また、運行に関する町のリスク（運転手の労務管理や事故対応等の賠償リスク）は減っている。

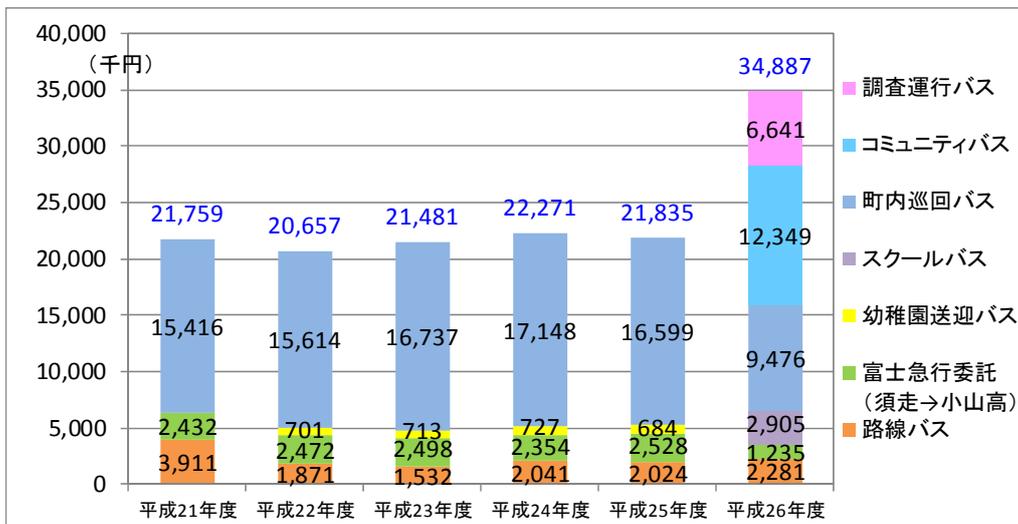


図 3-16 町内バス関連経費 (単位：千円)

路線バスは、富士急行(株)により11系統6路線が運行されており、うち8系統で町単独補助を行っている。駿河小山線の一部及び河口湖線は、国庫補助の対象路線でもある。平成26年度の運行補助金額は約4,382千円であり、そのうち約6割が中日向線(上野線)への補助である。

表 3-8 本町内を運行する路線バスへの補助 (平成26年度)

系統数	系統名	運行系統			補助額 (千円)		
		起点	経過地	終点	国庫補助	県補助	市町補助*
1	河口湖線	河口湖駅	旭日丘	御殿場駅	17,053	13,809	0
2	小山高校線	駿河小山駅	所領、足柄駅	小山高校	0	0	0
3	小山高校線	御殿場駅	仲町	小山高校	0	0	165
4	駿河小山線	御殿場駅	一色	駿河小山駅	5,035	5,035	0
5	駿河小山線	御殿場駅	仲町	佐野川	0	0	24
6	駿河小山線	御殿場駅	仲町	一色	0	0	144
7	正倉線	御殿場駅	中下橋	正倉北	0	0	206
8	中日向線	御殿場駅	高根支所	上野	0	0	2,572
9	中日向線	御殿場駅	高根支所	富士小山病院	0	0	146
10	富士霊園線	御殿場駅	わさび平	富士霊園	0	0	561
11	富士霊園線	御殿場駅	富士ビル・ドウェイ	富士霊園	0	0	564
合計					22,088	18,844	4,382

※御殿場市分も含む

表 3-9 路線バス収支決算

NO.	起 点	経 由	終 点	経常収益 (千円)	経常収益 町内(千円)	経常費用 (千円)	経常費用 町内(千円)	経常損益 (千円)	損益町 (千円)	町内 収支率	小山町 補助額(千円)
1	御殿場駅	仲町	佐野川	271	58	491	105	-220	-47	55.2%	-23.5
2	御殿場駅	仲町	一色	210	20	640	60	-430	-40	33.3%	-20.0
3	御殿場駅	中下橋	正倉北	124	9	676	48	-552	-39	18.8%	-19.5
4	御殿場駅	高根支所	上野	3,650	1,669	9,726	4,446	-6,076	-2,777	37.5%	-1,388.5
5	駿河小山駅	所領・足柄駅	小山高校	330	330	483	483	-153	-153	68.3%	-76.5
6	御殿場駅	仲町	小山高校	1,361	188	1,868	258	-507	-70	72.9%	-35.0
7	御殿場駅	高根支所	富士小山病院	231	43	563	105	-332	-62	41.0%	-31.0
8	御殿場駅	わさび平	富士霊園	1,388	828	2,809	1,676	-1,421	-848	49.4%	-424.0
9	御殿場駅	富士スピードウェイ	富士霊園	2,229	1,231	3,561	1,967	-1,332	-736	62.6%	-368.0
			合計	9,794	4,376	20,817	9,148	-11,023	-4,772	47.8%	-2,386.0

※平成26年度(平成26年10月～平成27年9月)

表 3-10 コミュニティバス経費

	平成26年 10～12月	平成27年 1～3月	平成27年 4～6月	平成27年 7～9月	平成26年度 合計	平成27年 10～12月
運行日数	92	90	91	92	365	92
運送経費(円)	8,532,440	8,430,230	8,587,080	8,681,440	34,231,190	9,004,820
運送収入(円)	535,460	470,280	574,410	474,260	2,054,410	569,220
収支(円)	-7,996,980	-7,959,950	-8,012,670	-8,207,180	-32,176,780	-8,435,600
収支率	6.28%	5.58%	6.69%	5.46%	6.00%	6.32%

表 3-11 小山地区・足柄地区実証実験運行バス経費

	循環	明倫小・小山中※	湯船・柳島	合計	通学定期など
運行日数	90	58	26	-	-
運送経費(円)	6,210,973	570,055	1,283,746	8,064,774	-
運送収入(円)	323,850	3,750	24,200	351,800	1,639,560
収支(円)	-5,887,123	-566,305	-1,259,546	-7,712,974	-6,425,214
収支率	5.21%	0.66%	1.89%	4.36%	20.33%

※くわぎ増便を含む

	コミュニティバス実績 (平成26年10月～平成27年9月)	実証実験運行バス (平成27年10～12月)		合計 (年換算予想)
			年換算	
経費(円)	34,231,190	8,064,774	32,259,096	66,490,286
収入(円)	2,054,410	351,800	1,407,200	3,461,610
利用者(人)	12,577	1,708	6,832	19,409
利用者当り経費(円/人)	2,722	4,722	4,722	3,426
利用者当り収入(円/人)	163	206	206	178
世帯(戸)	7,433	3,250	3,250	7,433
世帯当り経費(円/戸)	4,605	2,481	9,926	8,945
対象世帯(H26.4)	町全域	小山・足柄地区		町全域

※通学定期などの収入は除く

- ・コミュニティバスと実証実験運行バスの経費は、年換算で約6,650万(利用しない場合でも必要となる経費)
- ・利用者一人当たりでは、約3,400円/人の経費
- ・この経費を、町全体の総世帯数で割ると約9,000円/世帯・年となり、1か月では約750円/世帯・月かかっている。

3-3 その他のバス等

(1) 高速バス

本町には、東名高速道路が通過しており、高速バス路線の利用ができる。東名足柄バス停では、JR 御殿場駅からの小山高校生の利用の他、東京駅行や新宿駅行が数多く運転しており、静岡県内で最も関東に近い地勢により、関東圏との交流が容易になっている。特に、自衛隊富士学校前は自衛官の出張にも使われており利用者の多い路線である。

また、箱根へも多くの便が運行され、高速バスも地域公共交通に加えて利便性の高い交通手段として利用されている。さらに、羽田空港や名古屋へも路線があり、広域の利用へとも繋がる玄関口となっている。

町民アンケートにおいても7割近くの人が高速バスを利用しており、町民の移動手段としても浸透している。

表 3-12 高速バスの運行概要（各ホームページ）

バス停	方面	運行本数			料金 片道	運行会社
		平日	土曜	日曜日		
東名足柄	東京駅行	21	21	21	1,520	JR 東名ハイウェイバス (JR 東海バス・JR バス関東)
	名古屋駅行	9	10	10	4,030	JR 東名ハイウェイバス (JR 東海バス・JR バス関東)
	箱根行	21	22	22	990	小田急箱根
	新宿行	33	34	34	1,520	小田急箱根
	羽田空港行	8	8	8	1,850	小田急箱根、京浜急行
東名小山	東京駅行	4	4	4	1,470	JR 東名ハイウェイバス (JR 東海バス・JR バス関東)
	箱根行	21	22	22	1,000	小田急箱根
	新宿行	27	27	27	1,470	小田急箱根
	羽田空港行	8	8	8	1,850	小田急箱根、京浜急行
自衛隊 富士学校前	東京駅行	13	14	14	1,650	富士急行、JR 高速バス (JR バス関東)
	横浜駅行	4	4	4	1,850	富士急行
御殿場駅	横浜駅行	11	11	11	1,650	小田急箱根、京浜急行、富士急行
	東京駅行	8	10	10	1,650	富士急行
御殿場市立 図書館前	渋谷マークシティ行	9	9	9	1,700	フジエクスプレス、京王バス、東急バス

※平成 27 年 11 月現在

(2) ハイキングバス・富士登山バス

本町には、世界遺産である富士山を抱え、観光と連携したハイキングバスや富士登山バスが運行されている。ハイキングバス（土日祝日のみ）は、富士急行㈱により JR 駿河小山駅～明神峠間を4月末～11月まで運行され、毎年、1,000名近くの利用がある。富士箱根トレイルは、富士山五合目から西丹沢（三国山稜・湯船山・不老山）を経て、足柄山系の金時山までを縦走する総延長約43kmの区間を結んでいる。

- 運行時間 駿河小山駅 8:45 発 → ふじみセンター 8:47 → 明神峠 9:10 着
- 運行期間 平成 27 年 4 月 25 日（土）～11 月 29 日（日）
- 運賃 大人 550 円 （小人 280 円）

また、夏季富士山登山バスとして、JR 御殿場駅から富士急行㈱により、小田急新松田駅から富士急湘南バス㈱によって、須走口五合目までを5月初～10月末まで運行している。

- 運行時間 1 日 3～14 往復
- 運行期間 JR 御殿場駅から 平成 27 年 5 月 16 日（土）～10 月 25 日（日）
小田急新松田駅から 平成 27 年 7 月 18 日（土）～9 月 6 日（日）
- 運賃 JR 御殿場駅から 片道大人 1,540 円 （小人 770 円）
小田急新松田駅から 片道大人 2,060 円 （小人 1,030 円）